

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	
カンピロバクター	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	10	8	3	10	
病原性大腸菌	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	11	7	7	1	
腸管出血性大腸菌	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0	
サルモネラ	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	0	3	2	1	
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	0	3	0	1	
黄色ブドウ球菌 MRSA	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	3	2	2 (3)	3	
腸炎ビブリオ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	0	0	0 (1)	0	
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アデノウイルス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
ノロウイルス	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第51週(12月16日~12月22日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	1		2	1	2	1	2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	0	発生なし	0							
五類	16	急性脳炎	4			1		3		
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	2	1				1		
		梅毒	4					2	1	1
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		百日咳	4					4		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和6年51週(12月16日～12月22日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり39.11人の報告があり、警報レベル(定点当たり30.0人)を上回りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は49件の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第51週 A型:304人、B型:0人

2 感染性胃腸炎

定点当たり5.57人の報告があり、増加傾向です。手洗いの徹底、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策に努めましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.83人の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策に取り組みましょう。

4 水痘

定点当たり0.91人の報告があり、前週と比べて増加しました。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	1408	39.11	9.04	↑	ヘルパンギーナ	-	-	0.23	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	66	1.83		→	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	5	0.22	0.12		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	11	0.48	1.43		流行性角結膜炎	9	1.13	0.68	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.91	1.67	→	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	128	5.57	6.84	↑	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	21	0.91	0.17	↑	マイコプラズマ肺炎	31	5.17	0.06	→
	手足口病	2	0.09	0.96		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.09	0.17		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	4	0.17	0.19						

急増減 ↑ (赤) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	102	70歳代、80歳代
5	急性脳炎	3	11	10歳未満・3人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	14	80歳代
5	梅毒	2	160	30歳代、50歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	8	80歳代
5	百日咳	4	42	10歳未満・2人、40歳代・1人、50歳代・1人